

2014年3月20日

プロジェクト報告書

【締切：プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2014年4月30日】

団体名 **木ヶ丘トキアズ**

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

共有体験から生まれる思いやりのある優しい街プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

専門性を重視する追求から分離教育を中心とする学校教育の現状を越えて、障害のある子供、子や、楽しい体験を共有します。互いに出会うことで、思いやりを育てます。共生の街づくりは互いを認め、優しく思いやりを育てます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

地域の小学校の教室を借り、障害のある子、ない子が共に樂しい課題に取り組み、共有の体験、時間を持ちます。「国子作りなど調理」では、障害児を含む班編成を行ない、調理課業棟から互いを知ること、ゆすることを学びます。一緒に「いただきます」と食べを樂しく、お互いを大切に喜んで達成感を味わいます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

遊び、樂しいことを企画します。バスハイキングなど、思い思い残すワクワクある行事を実施します。子どもの参加にとどまらず、2家族、地域の人、大学生不拘アンド、たくさんの人を巻きこねよう努めます。理解者、支援者を増やし、障害理解のより深い共生社会を目指します。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

日常生活の中で、障害のある子、ない子、またその家族が、体験や時間と共にすることはまれな現状です。お会い、かけたりはもちろん、継続化し、理解を深めることはとても大切です。この助成金を活用してたくさんの方々を作ることであります。その中には、～3、～4年生がいて、それも学ぶ場として、そして、共生社会を実現するためプロジェクトを継続し、その努力をしつゝ大切に実感します。

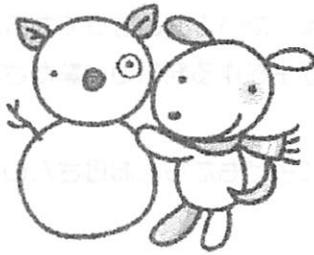
6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ポケットキッズ便り

平成25年7月15日



6月29日、恒例のお団子作りを行いました。平成17年から始まつたお団子作りは、今年で9回目です。鈴木小6年生の女子は、「5回目です！1回だけ、熱を出して来られませんでした。」と教えてくれました。1年生の時に彼女に初めて会ったときは、まだまだ可愛かった。。。さすが、最高学年、とても成長され、お姉さんになったこと、うれしく思いました。

そして、今回、ポケットキッズの高3のお兄さんと同じグループでの活動の様子は、障害者の支援者としての一面を感じるほどでした。幼い頃からの活動の継続が障害児、障害者に自然と関わり、援助する力を磨いていったことと感じました。そして、フレッシュな1年生のお友だちも参加していました。おかあさんもいっしょです。いつものお友だち、はじめてみるお友だちも楽しくお団子作りをしました。もちろん、みんな、7月の学校目標の「あとしまつ」にもしっかり取り組みました。ありがとう！

障害のある子たちは、普通とはやっぱり違うのかもしれません！でも同じ社会の中でともに暮らしています。いっしょに遊び、いっしょに学び、いっしょに大きくなりたいです！よろしくお願ひします。

今回も鈴木小のお母さん、地域の人、大学生のお兄さんお姉さん、ポケットキッズのお父さんお母さんのお世話になりました。皆さんのお手伝いのおかげで、おいしいお団子ができました。ありがとうございました。

次は親子バスハイキングです。10月6日(日)行き先は KIRIN 横浜ビアビレッジ+αです。ぜひご参加下さい。

今年度の活動には、社会貢献を目指す SHINJO プロジェクトの助成を頂いています。



次ページはみんなの感想と絵です。素敵な感想と絵をありがとうございます！！

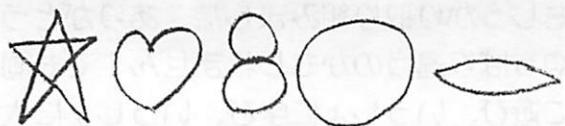
〔学生ボランティアさんの感想〕

通常学級の児童といっしょにお団子作ることができて、楽しかったです。「先生が作った星（型の団子）食べたい！」と言ってもらったり、丸い団子だけでなく、キューブ型、他の色を混ぜての寿司やキノコの団子を作る発想力に驚かされました。

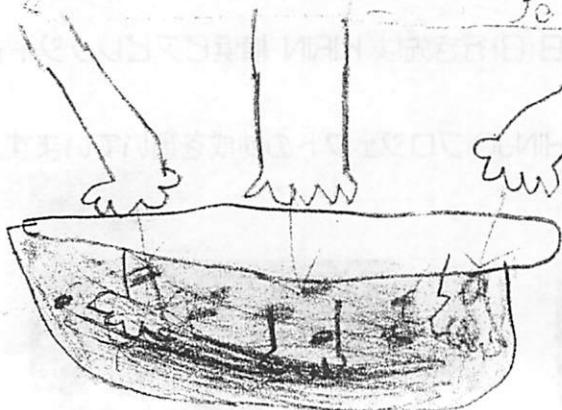
〔子どもたちとお母さんの感想と絵〕



小金井えん学校のお友達と、ねこめていっしょの
クリスマスになつていろいろな形のお団子を作つて食べよ
した。楽しかつたです。こんどは、えん学校に遊びに行
きたいです。

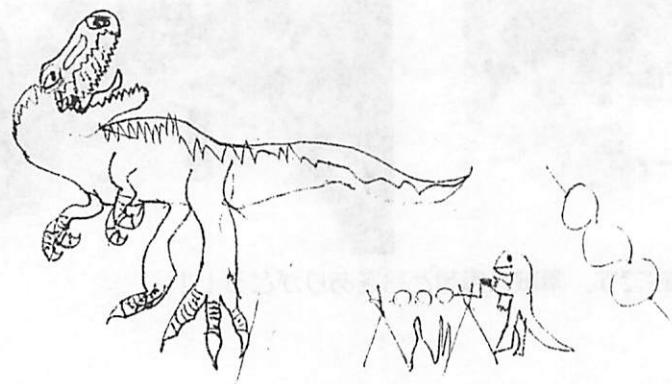


おにぎりごううまくもみもみできなか
けとおにぎりをつむぐ

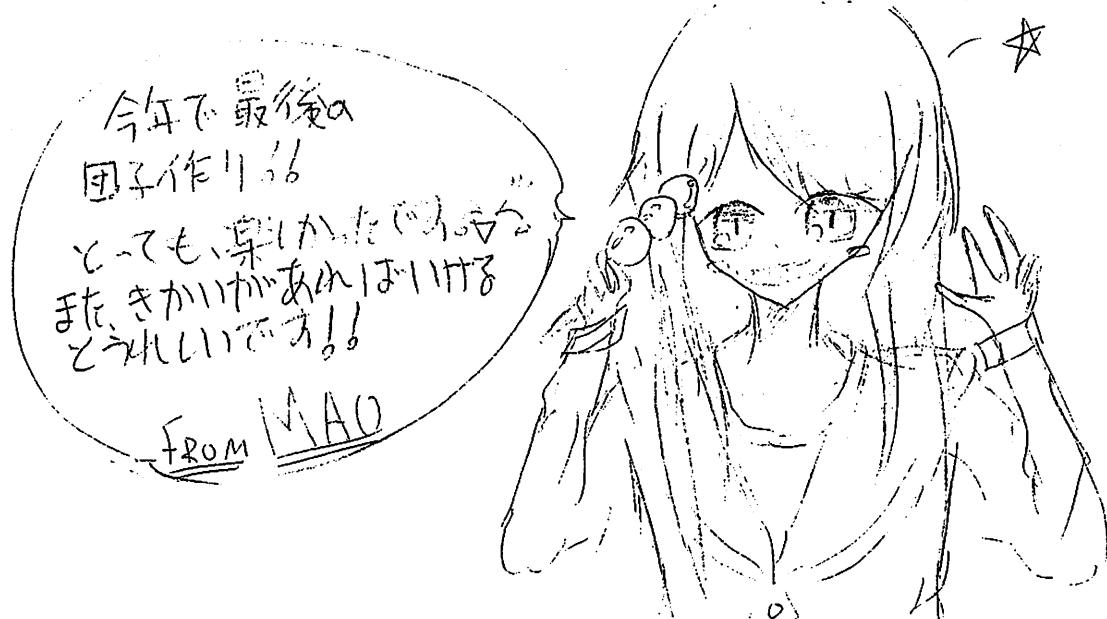
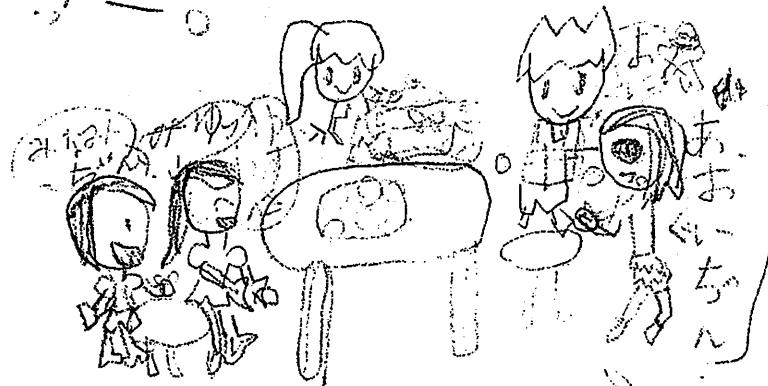


またやりたい。

オクトopusのたべごもり、てめたのしか、ねこ
ゆうへいひいかんもさわだらになりました。
また、いっしょがあそんだりしないで。



おだんごを作ったのかた
のしかた。



団子作りで一番楽しかったことは、どう、さとう
白玉こを入れてこねている時と、形を作っている時
で、大へんだったのは、湯に入っている団子が
浮き上ってくるのをまっている時です。



大へんなこともあたけど、おいしい団子が

作れて楽しかったです。初めてのおだんご作りでした。

個性的なおだんごがたくさんできましたよ。



みんなで作ったおだんごとっても美味しいかったです。
ホケホトキッズさん準備などありがとうございました。
皆で仲良く、活動ができ楽しかったです。次回も
楽しみにしています

帰りにたんご作りのことを思い出します。
出すほど、たれしかったです。



いよいよおだんごをつくって
みたくなりたのです。
それがうれしいです。
おひかんもさつくりとつくれました。
こんなに大きさが
ありました。

またつくっていきたい!

おだんごをつくって
つくれ、みんなで
おしゃべりました。
おのしゃべりました。
またつくりたのです。

